



都市とITとが出会うところ

福田 知弘 大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 准教授

建築・都市とIT（情報技術）とは一見遠く離れた別々の分野のように思えなくもない。しかし、情報社会の時代となり、建築・都市とITとは、計画、設計、施工、運用の各フェーズにおいて、互いの存在をますます無視できなくなっている。本連載では、都市とITとの両者が出会うところや課題について、魅力的な国内外の各地をぶらりと街歩きしながら考えてみよう。

第33回 VR サマーワーク ショップ（1）

VR サマーワークショップが大阪にやってきた！

7月11日から15日にかけて、大阪大学・サイバーメディアセンターを舞台として、国際VR（Virtual Reality：人工現実感）シンポジウム第7回サマーワークショップイン大阪が開催された（図1）。VRサマーワークショップは、世界各国から建築・建設・都市系の研究者・実務者が集まる研究会「World16」のメンバーが、VRソフトUC-win/Roadなどの3Dデジタル技術を如何に発展・実用化していくかを提案・議論する場である。その年の11月に東京で開催される国際VRシンポジウムでの成果発表をひとつの目標としている。

これまで、アメリカ・フェニックス（2008）、箱根（2009）、アメリカ・サンタバーバラ（2010）、イタリア・ピサ（2011）、ハワイ（2014）、そして、ギリシャ・テッサロニキ（2015）で開催されてきた。そして今年は、筆者の大阪大学を中心に実施することになった。

近年、VRサマーワークショップの参加者は、ワークショッププログラムの多様化によって、World16や事務局スタッフに加えて、特別ゲストやコンペの審査員やその受賞者が参加するスタイルとなってきた。一方で、3Dデジタル技術の新たな研究開発、実用化への見通しを、World16のメンバーで時間をかけて議論したいという想いが芽生えてきた。そこで、今年のVRサマーワークショップは、本来の姿に立ち返ってみるべく、World16とフォーラムエイトのスタッフを中心に構成することになった。最終的に参加したWorld16メンバーは14名と、近年まれに見る多さとなった。

筆者自身、これまで、VRサマーワークショップには、大阪から海外に出かけて参加してきた。今回、世界各地で出会ってきたWorld16のメンバーが、アメリカ、カナダ、イギリス、チリ、ニュージーランド、バーレーンなどから、忙しい合間を縫って、大阪にわざわざ来てくれるのは嬉しい限りである。かつて、大阪大学吹田キャンパスの隣で開催された大阪万博のテーマソ

ング「♪こんにちは こんにちは 世界のひとが〜」のような気持ちである。

個人的に、海外を訪問した際の楽しみのひとつは、地元の人々と出会えることである。オモロイ地元の人々と出会えれば、「また行きたい！」と思えるし、その逆もまた然りである。VRサマーワークショップの終盤には、エクスカージョン（研修旅行）を企画することになっており、その中で、地元のオモロイ人々と交流してもらえれば、と考えた。

イヴ

7月11日の夜、明日から本番となるVRサマーワークショップに向けて、メンバーが世界中から大阪に集まってきた。デジタル世界に浸かる前に、まずは大阪のフィジカルな広さを楽しんでもらうべく、万博記念公園のEXPOCITYにオープンしたての、日本一の観覧車「Osaka Wheel」へ（図2）。ゴンドラの床面はシースルーであり、空中に浮かんでいるかのような雰囲気になってくる。不思議なもので、リアルな大阪の夜景がVR世界に見えてくるものだ。

ワークショップ本番

7月12日からはワークショップがいよいよスタート。オープニングセッションとして、World16の代表を務める小林佳弘氏（アリゾナ州立大学／アメリカ）より、World16の活動実績紹介と今回のミッションがメンバーに提示された。

ミッションは、これから48時間かけて、各メンバーが行っているプロジェクトのチュートリアル・ビデオを構築するものである。3Dデジタル技術を学ぼうとする人や、これからイノベーションを起こそうとする人々のための学習教材となることを期待している。2日後となる14日午後にはチュートリアル・ビデオを完成させ、大阪市中央公会堂特別室でプレゼンテーションを行う計画も披露された。続いて、事務局を務めるフォーラムエイト代表取締役の伊藤裕二氏がウェルカムスピーチを行い、筆者がホスト役として大阪、大阪大学、大阪弁について紹介した。そして、World16各メンバーからの技術提案が始まり、丸2日間のワークショップがスタートした（図3-5）。



福田 知弘 (ふくだ ともひろ)

1971年兵庫県加古川市生まれ。環境設計情報学が専門。大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士後期課程修了、博士(工学)。大阪府河川整備審議会委員、神戸市都市景観審議会委員、CAADRIA (Computer Aided Architectural Design Research In Asia) 学会元会長ほか公職多数兼務。NPO法人もうひとつの旅クラブ理事、大阪旅めがねエリアクルー。「光都・こうべ」照明デザイン設計競技最優秀賞受賞。主な著書に「VRプレゼンテーションと新しい街づくり」「はじめての環境デザイン学」など。ふくだぶろーぐは、<http://fukudablog.hatenablog.com/>



図1 VRサマーワークショップ集合写真 (大阪大学サイバーメディアセンター)



図3 ワークショップ風景



図2 日本一の観覧車



図4 回転寿司はやはり発祥の地・大阪で



図5 ホテルに戻ってもワークショップ